

---

# お嬢様とお手伝いさん ある朝の一時

仙人掌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

お嬢様とお手伝いさん ある朝の一時

### 【Nコード】

N5075D

### 【作者名】

仙人掌

### 【あらすじ】

茶髪のお嬢様と、その黒髪の毒舌なお手伝いさんのある朝の会話。

「朝です、起きて下さい」

一秒も待たぬ間に金ダライが上から、  
ゴーン！

「痛あああああああ！」

屋敷にしては小さめの家の一部屋。少女の悲鳴が響き渡る

「咲羅あ！何すんのよっ！（怒」

寝癖で頭がボサボサな茶髪の少女、彼女の名前は

「椿つばきよ」

・・・・・・・・・・持ってかれた・・・

「お嬢様、起きて下さい」

「もう起きてるわよっ！顔面にタライが落ちれば起きるわっ！」

メイド服を着た黒髪のお手伝いさん、咲羅が返す。

「だってお嬢様は、こうでもしないと起きないでしょう？」

「起きるわよっ！母さんと違って朝に弱くはないわ！」

「親子だから遺伝してもいいと思いますが・・・」

「してたまるかっ、母さんとは違うのよ！母さんとはー!!」

「そうですね、椿お嬢様は料理がド下手ですからね」

「・・・それが主人に対するメイドの態度なの？」

「私はメイドではありません。あくまで【お手伝い】です」

「お手伝いの態度でもないじゃないっ、てかどっちでもいいし!」

「まあそうかもしれませんが、ここは貴方にもゆずれません」

「咲羅あ・・・それはこだわり？」

「ええ、そうです」

メイド服なのは・・・母親のこだわりである。

「じゃ、着替えるから」

「ハイ」

.....

「いや、出てっつてよ」

「なぜですか？」

「はずかしいからよ！」

「椿お嬢様のその平坦な胸にはほとんどの男性ですら興味が無いと思います」

「悪かったわね！早くでてけっ！！」

ボタン

「・・・・・・・・なんで急に素直になるのよ・・・・・・・・」

「終わったわ、今日の朝食は何？」

「貴女の分などありません」

「はあああああああああ！?!?!?!?!」

「嘘です」

「あ・・・・・・・・ならいいけど・・・・・・・・」

「それより、時間はいいんですか？」

「え？」

そう言って時計を見ると・・・

「きゃあああああ！ほとんど時間ないじゃない！」

火事場のばか力（？

超スピードで仕度を終わらせる

「いつてきまゝっす！」

「そんなに急がなくてもいいですよ、私が時計を早めといただけですから」

「はい？」

認識のための一瞬のタイムロス。その間に逃げる咲羅。

「ふざけんなあああああああああ！」

こんどの少女の叫び屋敷中に響いた。

（後書き）

処女作です。

感想、指摘などいただけたら私が狂喜乱舞します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5075d/>

---

お嬢様とお手伝いさん ある朝の一時

2010年10月24日06時01分発行